

平成 27 年 8 月臨時教育委員会会議録

1. 日 時 平成 27 年 8 月 6 日（木）午後 1 時 30 分～午後 2 時 10 分

2. 場 所 市役所新館 4 階 第 1 委員会室・会議室

3. 出席者

委員長 中野 俊勝 委員長職務代理者 川岸 靖代 委員 谷口 馨
委員 野口 和江 教育長 樋口 利彦

4. 事務局出席者

教育総務部長 西川 照彦 学校教育部長 須賀 俊介
総務課長 大西 謙次 産業高校学務課長 山本 徹雄
学校教育課長 松村 慎治 人権教育課長 阪本 美奈子
総務課参事 高井 哲也

開会 午後 1 時 00 分

前回会議録について承認された。本会議録署名者に谷口委員を指名した。
傍聴人 0 名。

○中野委員長

ただいまから、8 月臨時教育委員会会議を開催します。

議案第 43 号 岸和田市立産業高等学校（全日制・定時制）における平成 28 年度使用教科用図書の採択について

○中野委員長

議案第 43 号 岸和田市立産業高等学校（全日制・定時制）における平成 28 年度使用教科用図書の採択について、事務局から説明をお願いします。

○松村学校教育課長

議案第 43 号につきましては、岸和田市立産業高等学校（全日制・定時制）における平成 28 年度使用教科用図書の採択についてでございます。

岸和田市立産業高等学校（全日制・定時制）で教科用図書について教育委員会で採択するため、産業高等学校における教科用図書選定委員会の答申を上程するものです。

採択にあたりまして、産業高等学校教科書選定委員会の報告を、全日制および定時制それぞれ新規教科用図書につきましてご説明させていただきます。

○齋藤産業高校全日制首席

今年度におきましては、新課程の全ての教科書が出そろった形となりました。その中で、改変を要する科目があるかどうか、会議を進めさせていただきました。新カリキュラムになりまして、使い勝手の悪いものやもっと良いものがあるのか、先生方に議論をしていただいて、その中で2冊のみ改変をお願いしたく、本日、選定理由をつけて持参いたしました。

【地歴】 「地図」(帝国 地理 307)

地図としての基礎・基本を抑えていることは、どの地図帳も同様であるが、本書のみ、地理だけでなく、歴史の授業でも活用することを想定されている。

また、文化の形成過程に関わる事項を地図中に多数掲載しており、現代の地図の上に歴史事象を重ねる表現なども多数用いられている。

【外国語】 「Vision Quest English Expression I Standard」(啓林館 英I 308)

実際に使われている場面設定や表現が多く、実用的であり、生徒が積極的にコミュニケーションを図ることの出来るトピックも多く取り上げられている。文法説明もわかりやすく、練習問題の数も豊富である。アクティビティーを行ったあとに、相手の意見を整理したり、自分の意見を論理的に述べたりできるような構成となっている。

○中野委員長

地図帳は社会科の科目に関連して3年間使うこととなりますよね。1年生で地理A、2年生で世界史B、3年生で現代社会ということで3年間続けて使います。2年生の歴史の関係で説明がありました。資料を見せてもらいましたが、例えば産業別人口の割合や世界の統計をみると前の地図の方のデータが2012年で新しいです。今回の物は2008年のデータとなっていますが、その点でどうかと思います。

○齋藤産業高校全日制首席

あくまでも地図としての基礎、基本を押さえているということでは全ての地図帳で同じという視点に立っています。そのうえで、昨今、いろいろなところで言われていますアクティブラーニングを頭におきますと、新しい地図においては“やってみよう”というものがあって、先生もそこから生徒にアプローチがしやすいということも踏まえたうえでの選択でもあります。

○中野委員長

資料としての使い方よりもむしろ積極的な学習面を重視された、ということですか。

○齋藤産業高校全日制首席

はい。

○中野委員長

できれば資料も新しい方が良いと思います。

他にも東書からも出ていますね。そのあたりの議論はどうでしたか。

○齋藤産業高校全日制首席

東書の地図と比べてどうかということは聞いていません。

○樋口教育長

別冊は、生徒にとって興味を持てるような作りで、歴史の関連が分かりやすく附属されていて良いものだ、と感想を持ちました。

○中野委員長

歴史の教科書の中にも地図はあると思いますが、それ以上に詳しく勉強ができるという意味ですね。

○齋藤産業高校全日制首席

はい。

○中野委員長

外国語のイングリッシュ エクスプレッション I について如何でしょうか。

英語表現ですから4技能それぞれについて、総合的に3年生でまとめていくというような学習なのでしょうか。

○齋藤産業高校全日制首席

はい。

○樋口教育長

推薦された理由で、特にコミュニケーションを大事にするということが重視されて、積極的に生徒たちがコミュニケーションをとれる題材を多く取り上げている教科書で、英語の教科が目指している部分かと思しますので良いと思いました。

○中野委員長

ざっと見ましたが、細切れかなという感じはします。知識をまとめていくには生徒は頑張ってもらわないといけないという感じはしています。

○齋藤産業高校全日制首席

内容でアクティビティシートがあらかじめ教科書内にたくさん準備されています。

○中野委員長

他にご意見・ご質問等ございませんか。ないようですので原案のとおり承認します。

○中野委員長

次に、定時制課程における教科用図書選定理由の説明をお願いします。

○杉本産業高校定時制教務主任

それでは、教科の選定理由をご説明します。

次年度、定時制としまして新規採択もしくは変更を伴う教科書はお示しのとおり、1種類になります。従前、4学年で英語に関する科目を設定しているのですが、教育課程の見直しにより変わることになりました。変わった科目は新課程で新たに追加された科目ということになりますの

で、教科書の変更ではなく、新しい科目を履修することで新規採択という形になります。
本日、採択させていただきたく、お持ちしました。科目名は、英語会話になります。

【外国語】 「SELECT English Conversation」(三省堂 英会 302)

会話を各課の最初に置く従来の方式ではなく、その課で学習する基本表現を最初に提示しており、ターゲットが明確である。また、平易なリスニング等から始まり、段階を追って難易度を挙げて学習していく構成になっているので、学習内容を着実に身につけることができる。題材には「電話の対応」、「待ち合わせ」、「買い物」、「食事」等、生徒にとって身近なものを扱っている。リスニングやワークシートを用いた活動、インタビューやロールプレイなどの楽しいコミュニケーション活動も含まれている。以上のことから、生徒が英語による自己表現を高められる教科書であると考えられる。

○中野委員長

説明が終わりました。何かご質問等ございませんか。

○野口委員

1年生から4年生まで、1年生がコミュニケーション英語Ⅰ、2年生が英語表現Ⅰ、3年生がコミュニケーション英語Ⅱ、4年生が英語会話になるのですね。コミュニケーションもあるし、会話も入ってくると思いますが、4年生で英語会話という科目が入ってくるということは、より実用的ということですか。

○杉本産業高校定時制教務主任

念頭に置いている考えは、4年で卒業する生徒にとって卒業学年になりますので、最後の学年の仕上げの部分で実用に耐えうる何か英語の指導ができないかという方針があります。黒板を使って文法や単語を書く学習ではなく、教員とのコミュニケーションを通して会話の力や英語の理解を深めることも考えて、この科目を第4学年に入れていきます。

○中野委員長

教科書を見せてもらおうと、基礎をきっちり固めてということが分かります。

○杉本産業高校定時制教務主任

生徒自身が選択することになりますが、4年生というのはそれまでの3学年を通して履修や習得出来ていない科目をもう一度学び直す側面もございます。

○中野委員長

他にご意見・ご質問等ございませんか。ないようですので原案のとおり承認します。

○中野委員長

教科書採択については、皆さん関心のあることなので公表に努めてください。

○中野委員長

他にございませんか。

それではご審議いただいた、岸和田市立産業高等学校（全日制・定時制）における平成 28 年度使用教科用図書について採択いたします。

それでは、本日の臨時教育委員会は閉会とします。

閉会午後 2 時 10 分

本会議録に相違ないことを認め署名する。

委員長

署名委員